

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2009年7月2日

「平成21年4～6月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－業況判断指数（DI）は過去最低水準を更新するも底打ち感がみられる。売上額DIは改善－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成21年4～6月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。今回調査より浜松商工会議所が行っていた経営動向調査と統合し、調査協力をいただいております。詳細は別添資料をご覧ください。

1. 調査概要（調査 静岡県西部地域しんきん経済研究所 協力 浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成21年6月1～5日

回収状況 回収数 622社（回収率 97.8%）

2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

① 平成21年4～6月の業況について

業況DIは全産業ベースで-73.6と2四半期連続で過去最低水準を更新したが、3月前回調査（-73.4）からほぼ横ばいで推移。売上額DIは全産業ベースで-49.0となり、3月の前回調査（-67.9）から18.9ポイントの改善。改善は6四半期振り。

② 平成21年7～9月期の見通しについて

7～9月期にかけて業況DIは3月前回調査に比べ3.9ポイント改善の-69.7、売上額DIは16.9ポイント改善の-32.1と低水準ながら回復傾向がはっきりしてくる。

③ 業種別の動向

この1年で急速に落ち込んだ製造業が改善傾向を示している。

業種	業況DI(前期→当期)	動向
二輪部品製造(57社)	-94.7→-94.7	業況DIは過去最低を記録した前期と横ばい。売上額・受注残・収益DIは大幅改善。
自動車部品製造(70社)	-98.6→-92.9	業況DIは-92.9と極めて低い水準であるが、前期比5.7ポイント改善。最悪期は脱した模様。
機械部品製造(63社)	-81.2→-90.5	業況DI以外の他の主要判断指数は改善したが改善幅は小幅にとどまった。
楽器部品製造(19社)	-77.8→-68.4	主要判断指数は軒並み改善。業況DIは極めて低い水準だが、製造業の中では最も高い水準。
繊維製造(27社)	-77.7→-77.7	業況・収益DIは横ばい、売上額・受注残DIは悪化するなど厳しい状況が続く。
卸売業(90社)	-73.2→-69.0	主要判断指数は改善。販売価格DIは3四半期連続、仕入価格DIは2四半期連続のマイナス水準。
小売業(67社)	-44.1→-44.7	業況DIは-44.7と僅かに悪化。本来ならば低い水準であるが全産業中、最も高い数値を示す。
建設業(76社)	-63.0→-69.8	受注残DIは改善したが他の主要判断指数は悪化。5四半期振りに下落した材料価格が上昇に転じた。
不動産業(37社)	-47.3→-54.0	主要判断指数は軒並み悪化。製造業の業績悪化の影響を受け賃貸物件の空室率が上昇している模様。
飲食・宿泊・レジャー等(16社)	-56.3	今回から調査対象に加えたため時系列の比較はできないが業況DIは-56.3。人手・設備は不足気味。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 富野 TEL 053-452-1510